

# 指定管理者実績評価表（令和元年度実績）

協働政策課

<b>施設名</b>	習志野市実習コミュニティホール
<b>指定管理者</b>	株式会社オーエンス
<b>指定期間</b>	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで

特記事項	総合評価
<p>・様々な自主事業による新規の利用者確保を図っているほか、夜間閉館による予約受付の拡大を図り意欲的な管理を行っている。9月の台風時には、建物全体及び実習コミュニティホールにおいても、浸水被害によるEVの停止、一部停電などの状況があるなかで、施設を休館することなく運営できるよう努め、職員相互の協力により臨機応変に対応し、施設運営への影響を最低限に抑えた。また、新型コロナによる影響により、3月は休館となったが、その分の影響を考慮すると、自主事業参加者数はほぼ前年度と同数程度となっており、一定の成果として評価できる。</p> <p>・施設利用者は増加傾向にあるが、施設利用者からのアンケート結果のほか、幼児やその保護者が施設を利用することが少ないなどの現状や課題を踏まえて、これらの状況の改善のため、「実習ハロウィン」を企画・実施した。その結果、地域の子どもや保護者が多く参加し、実習商店会の各店舗との交流が図られ、結果として地域の親近感を深める取り組みとなった。これらの取り組みは、施設の現状と課題分析、利用者アンケート等を踏まえた独自の工夫によるものとして評価できる。</p> <p>・実習、東習志野の各連合町会の事業へ積極的に協力しているほか、幼稚園、小学校、実習東習商店会、東習コミュニティセンターなど地域の様々な機関相互の交流、連携を促す自主事業を企画実施しており、地域交流の支援を積極的に実施している。</p>	A

区分	項目	評価観点	A	個別の評価
I 市民の 平等な 利用の 確保	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A+	
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	要求水準
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A	
II 管理を 安定して 行う 物的 能力、 財政的 能力及 び人的 能力の 保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	要求水準
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		4 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
3 災害発生時の対応体制が確立しているか。		A		

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅲ 当該施設の 効用を最大限に 発揮させる能力 及び経費の縮減	1 サービス向上及び 利用者の増加等、 施設の効用を最大限 に発揮させる取り 組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A	
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A+	要求水準を上回っている
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A	要求水準
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	要求水準を上回っている
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A+	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A+	
2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準	
	2 収支がプラスになっているか。	A		
	3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A		
Ⅳ 施設の 利用 状況	1 施設の利用実績	1 年間施設利用回数	A	
		2 年間施設利用人数	A	
Ⅴ 個 別 事 項	1 コミュニティ活 動の普及	1 地域との連携を十分に図れるか	A+	要求水準を上回っている
		2 利用団体間の調整を積極的に行えるか	A	要求水準
		3 地域の要望を踏まえた事業を実施できるか	A+	要求水準を上回っている

評価段階：A+～C	A+ (要求水準を上回る) の数	6
※要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準。	A (要求水準と同等) の数	27
	B (要求水準だが一部課題がある) の数	0
	C (要求水準に至らない) の数	0